

みんなのページ

「私の松前観光の未来図(夢)」

エミフルに来られる町外の多くの方々に、エミフルでの買い物・食事・遊びのほか、松前の魅力をもっと知ってもらうために、エミフル内に観光案内所を設置、新しく建てた「歴史産業館」は、数多くの歴史資料や名産品などを展示、松前の歴史・文化・産業などを一目で分かっていただけるようにする。また、観光案内所では、希望する観光ルート(徒歩・自転車・車バス)を選んでもらい、ボランティアが観光案内をする。そして、ルートの途中には「松前の名産品を販売する道の駅」や「試食・試飲・体験などが出来る場所」を設け、松前の良さを観光客に存分に味わっていただく。観光客からは「松前にはこんなにも素晴らしい観光地や名産品があったのか、松前に来てほんとうに良かった」と言ってもらえる町にしたい。観光開発を進め、エミフルと共に松前町全体の発展・繁栄を願っている。この夢を万分之一でも実現出来る事を願いながら日々頑張っていきたい。

観光ガイドボランティアグループ「はんざり」丸田 カ



8/28 西高柳自主防災訓練

非常持ち出し袋の中身は何？



2/4 「救う会愛媛」署名活動 (椿祭りにて)
一日も早い解決を。日本人の拉致問題！
参加者に呼びかけています。



11/30 子育て支援講座
(ネットワーク松前主催の
ワークショップに参加)
町長からも提言が！

編集後記

「一年の計は元旦にあり。」今年はどうな年になるのかな、いい年にしたいな、そんな期待にワクワクしながら、今年目標を立てた方も多くいるはず。私も・・・なんて考えているうちに、早くも一ヶ月が過ぎてしまいました。大きな目標は決めず、毎日何でもいから、昨日の自分よりも1%でも成長するように過ごせたらなと思っています。皆さんもこの一年が『羽ばたく一年でありますように』 K. I

～会長より一言～



皆様、今年もよろしく
お願いします。

隣のみんなのページの丸田さんのように、夢を持って活動が続けることは本当に素晴らしいことです。

次世代を担う子ども達の未来は、大丈夫でしょうか。

世界の動きもなんだか自衛に変わっていますが、過去の歴史から学んで武器で解決するのではない世界中の平和が来ますようにと “ニワトリの祈り永久に” (回文)

大西多美子

1/28 コムズフェスティバル
(女性と防災 分科会)



避難所運営ゲーム(HUG)の実践風景
(カルタじゃないよ)

メールアドレス

fujioaka.midori@gmail.com

☆ブログ・フェイスブックでも
活動内容の一部を公開しています。



藤岡みどりの



フクワ

レポート



第17号

2017.02.15 発行



今年は酉年 羽ばたけますように・・・

★新年を迎え早や1カ月が過ぎ、アメリカの大統領選では大方の予想を覆してトランプ候補が新大統領に就任し、オバマ政権とは大きく政策転換をしようとしています。その動きに世界中が注目していて、日本への影響も、TPP や防衛体制など、たちまち多くの懸念事項が持ち上がっています。国内問題にも関連するこれらの事項に対して安倍政権が、どう対処するのか今後目が離せないところでしょう。

★さて岡本町政が誕生して1年が過ぎ、いよいよ公約の実践に繋がる当初予算が3月議会に打ち出されます。28年度末に向け、私自身の議員活動も忙しくなってきます。

★また地域においても自主防災会発足10周年の年となり、コミュニティ広場の充実や色々な動きも予想され、今まで以上に皆さんと共に歩む活動が望まれるのではと感じております。

★今年は酉年、大きく羽ばたける松前町になるよう、ハードルの高い問題も真摯に対応し一つ一つクリアしていきたいと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。

事務所から、こんにちは・・・



(月・水・金) AM9:00～PM5:00
(火・木) AM9:00～正午まで

「いつも、きれいなお花を届けて下さってお部屋がぱっと明るく・・・」

事務所内はスタッフと私で総勢2輪の花が咲いているつもりですが、そこにもう1輪本物の季節の花たちを届けて下さるおじさんO氏が時々来られて色々なお話をしていけます。

庭の木に咲いた可憐な花々や、とってもいい香りのする花たちをペットボトルに無造作に入れて「この花の名前を知ってるかい、花言葉は・・・」が、あいさつ言葉です。

失礼ながらO氏の外観と花たちとのミスマッチングが逆に素敵で、事務所にぱっと明るくなる元気を運んで下さってありがとうございます。私たちも花に負けないくらいの瑞々しさを取り戻し、ドライフラワーにならないように頑張ります。





9月

Q. 学童保育の充実化に向けて町の取組みは

A. 町内3校区の学童保育は、年々利用者も増え、従来の3年生から、今後6年生までの児童と対象も広がり、益々増える傾向にある。中でも北伊予小学校の放課後児童クラブの新設に当たり、現場の声つまり支援員さんたちの意見や希望が、実際の図面作成などのプロセスに活かされるよう努めた。具体的には事務室のカウンターやインターホンの設置、外用プールの蛇口、多目的トイレの設置で障がいのある子どもたちにも配慮した設計になっている。

(～0～)岡田、松前校区の学童保育も飽和状態なので対策を

12月

Q 高齢ドライバー対策



A. 県内の高齢ドライバーの加害事故は、去年の交通事故全体に占める割合も増えているが、運転免許自主返納状況は、全体的に進んではいない。高齢者の生活の手段となっている車のない生活支援なども必要だが、今は交通安全教育や啓発活動など広報が中心だが、今後更なるバックアップの方法はないか検討中だ。

(>ー<)自主返納促進には、積極的な生活支援策が急がれる

EX. コミュニティバスのエリア拡大、タクシー券限定配布など

Q 町民の各種健診の受診率アップの策は

A. 目標数値 60%に対して実質 33.4%と厳しい状況だ。がん検診も部位によって開きがあり、この二つを総合健診として行う。若い世代からの受診の習慣づけをするため、2年前からレディース健診などでは、託児対応なども行っている。受診勧奨チラシの配布、医師会の協力で窓口にパンフを置くなど、アプローチを続けていきたい。



(＊0＊)町民の健康寿命を延ばす工夫も、町政に反映

Q. 小、中学校のトイレの洋式化率は(災害時には避難所となるのでトイレは高齢者にも優しい洋式化が望まれる)

A. 耐震補強事業に会わせてトイレ改修を行った結果、町内小、中学校のトイレ洋式化率は、59.6%と全国平均より 16%以上高く、はるかに進んでいる。内訳は、小学校 66.1%、中学校 48.7%となっている。教育的見地から和式トイレも一部残す考えだ。(＊～＊)今後も洋式化を進める方針とのこと。



Q. ネットで子育て手続きが簡単にできる「マイナポータル」について

A. 政府がネットで簡単に子育て手続きが行えるサービスを 2017 年 7 月から始める制度で、マイナンバー制度の個人向けインターネットサイト「マイナポータル」上で手続きが可能になり市町村の窓口に出向く手間を省き子育て世帯の負担軽減につなげようとするものだ。具体的なサービスとしては、妊婦の届け出、児童手当の新規継続の申請、児童扶養手当の継続申請、保育所の入所申請、予防注射のお知らせなど。

◎各種既存システムへの影響や顔が見えにくいやり取りの中で、見逃しやすい子育て環境の把握やきめ細かな子育て支援に支障がないか、心配な点もある。

→町としては引き続き、きめ細かい支援を続け懸念事項のある場合は、窓口対応など従来通りの支援をしていくとの回答があった。

《開かれた議会を目指して》 PART 2

★昨年春から始まった『議会基本条例検討会』で骨子となる考え方は、ほぼ 7 月末にはまとめることができた。ただ実際の条例の作成となると各論に入っていくので、その進め方について先進事例の研修を行い、作業部会を立ち上げて進めていく事で合意を得た。

★9 月末から始まった『作業部会』は正・副座長に 3 人の議員を加えた 5 人で、12 月初めまで 7 回の会議で研究と持ち帰り作業、ワークショップ、議論を繰り返して中間報告書と基本案の提出に至った。更に議員全員のチェックと意見収集を行い、1 月に入って 2 回の部会を開き法整備等の審査も受けて、2 月には最終報告書と最終修正基本条例案の提出ができる運びとなった。

★今後は条例の施行に伴う条項や規則、申し合わせ事項の修正など、作業部会の仕事は新たな分野へと進んでいく事になるだろう。



【高知県香美市にて】
他、東温市でも研修を行った。

魅力ある松前に

★松前町の魅力をもっと発信！

今年はいよいよ、えひめ国体も本番だ。多くの他県、市町の人々が松前町に来られるこの機会を絶好のチャンスと捉え、わが街の魅力をアピールし今後の観光や産業発展につなげていくお手伝いをしたい。

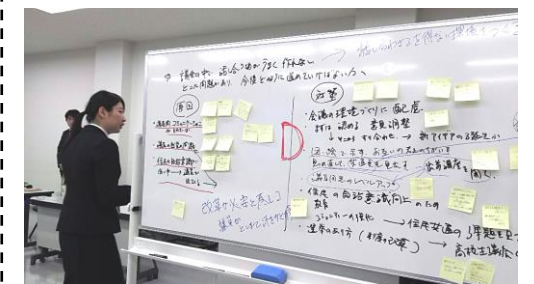
そういった思いから隠れた歴史的遺産や文化財的なもの、これから人気の出そうな食べ物やグッズ、それらをボランティアガイドさんたちを育成し、発信させていこうとするグループもできた。私はその活動の支援を行いながら、フェイスブックやツイッターなど SNS を駆使した幅広い世代への発信を行政にもプッシュしていきたい。



☆全国の市町村議会の議会改革に関わる仲間と勉強会を

1 月 23～25 日にかけて琵琶湖のほとりの JIAM 研修所にて、議会基本条例をはじめとする議会改革に熱心な 32 の議会の世話役たちが集まり、お互い情報交換を。

また先進的な事例紹介やプロセスにおける苦労話など、座学だけでなくワークショップや自己ワークの発表などもあって、緊張と充実の 3 日間だった。この経験を作業部会の仲間たちとも共有して、目的達成に向けて進めていく予定だ。



主な活動記録

8月	- 視察研修（熊本市益城町他） - 基本条例視察研修 - 地域自主防災訓練 - 黒潮町防災缶詰工場視察 - 松前町総合防災訓練
9月	9月定例議会 一般質問 - ペット防災土養成講座 - 女性と防災リーダー会
10月	- 広報委員会 - 四国町村議会研修会
11月	- 広報研修会 - 衛生組合議会 - ワイワイ座談会
12月	3月定例議会 一般質問 - 防災士 愛媛県支部創設会
1月	- 消防出初式・成人式参加 - 広報委員会 - 議会改革ステップアップ研修 - コムズフェスティバル

○基本条例作業部会は9月～1月にかけて、月2回のペースで実施